

支 援 者 の た め の

発達障害支援ガイドブック



令和4（2022）年3月
発行：広島県

発行にあたって

- ◆ 平成17年4月に発達障害者支援法が施行され、法律に規定された事業として、発達障害者支援センターが都道府県政令指定都市等に順次整備されていきました。
- ◆ 発達障害のある人やその家族、そして関係機関からの相談に対応するとともに、特性を考慮した支援が受けられるよう市町単位での支援体制の整備を行い、関係機関への後方支援に力を入れています。
- ◆ 発達障害の特性を考慮した支援が行われるための取組みとして、広島県では平成22年度に「発達障害支援ハンドブック～相談支援編～」を作成しました。また平成23年度には「幼児・学齢期支援編」「就労支援編」を作成しました。
- ◆ ハンドブックの活用を推進するために、「発達障害支援スキルアップ研修」を実施することで、様々な地域で活用事例が展開されるようになりました。
- ◆ 発行から10年が経過し、発達障害を取り巻く情勢の変化や米国精神医学会においてDSM-5（精神障害の診断・統計マニュアル第5版）が発行され、診断名の見直しが行われました。
- ◆ こうした状況を踏まえ、家族支援等、新たな取り組みや用語についても見直しの必要が生じたことから「発達障害支援ハンドブック」の改訂を行うこととなりました。
- ◆ これまでの内容に加えて新たな視点を追加した内容になっており、名称も改訂版発達障害支援ハンドブックから、「支援者のための発達障害支援ガイドブック」と改めました。様々な支援現場で活用いただければ幸いです。
- ◆ 最後に、2年間検討委員としてご参加いただいた皆様、挿絵をご提供いただいた関係者の皆様、そして、永年当センターへのご指導をいただいております。医事監修のお力添えを賜りました医療法人翠星会 松田病院理事長の松田文雄先生に心より感謝申し上げます。

令和4年3月
広島県発達障害者支援センター
西村浩二

INDEX

目次

はじめに	1
1章 発達障害者支援法と発達障害者支援センター	5
2章 発達障害とは	12
3章 脳の働きと認知特性	23
4章 発達障害の行動特性	32
5章 アセスメント	51
6章 相談のポイント	57
7章 個別支援計画	76
8章 環境設定	81
9章 自立支援	87
10章 その他の支援	99
11章 家族支援・当事者支援	114
12章 ライフステージの課題と支援	121
13章 就労支援の流れ	128
14章 連携・ネットワーク	153
15章 支援事例	158
16章 ワークシート集	164

各章のトピックス

発達障害者支援法について	6
発達障害者支援センターについて	8
発達障害について	13
自閉スペクトラム症	17
注意欠如・多動症	19
限局性学習症	21
その他の発達障害	22
認知特性について	24
発達障害の行動特性	33
アセスメントについて	52
相談の方法について	58
個別支援計画について	77
環境設定について	82
自立支援について	88
教える技術について	91
自立支援と課題設定	95
氷山モデル	100
応用行動分析	102
ストレスマネジメント	107
自己認知支援	109
家族支援	115
ペアレントメンター	117
ペアレントトレーニング	118
保護者支援	119
当事者支援	120
ライフステージの課題	121
就労支援について	129
連携・ネットワーク	154
支援事例	158

ガイドブックの活用方法

発達障害の特性を踏まえた相談・支援の必要性

- ◆ 「発達障害支援ハンドブック」の発行から約10年が経過しましたが、その間、障害福祉サービス事業所が大幅に増加し、発達障害のある人を受け入れる環境も増えてきました。
- ◆ 身近な地域で発達障害のある人を受け入れる流れが進みつつある一方で、特性が考慮されず、適切な支援に繋がらない例も少なくありません。
- ◆ 相談支援においては、通常の面談技術、支援技術・ケースワーク、知識・情報に加え、発達障害の特性を考慮した支援が必要です。

ガイドブックのねらい

- ◆ これまでは分野別に3種類のハンドブックを作成しておりましたが、この度の改訂では、年代を問わず支援に携わる様々な立場の人が活用できるように一冊にまとめました。
- ◆ 各市町の相談窓口や支援機関で活用していただくことを想定しています。
- ◆ 発達障害の特性を考慮した上で、発達障害の様々な支援に関する進め方についてまとめています。